



福祉用具の導入に消極的な時って。

80歳代女性、要介護3

慢性心不全、糖尿病の悪化により入院を繰り返していた。

今回、退院時のADLは起居・移乗自立、移動ピックアップウォーカー自立となっていました。

退院後からの生活状況

通所リハビリを週3回利用しているが、自宅では食事、トイレ以外はベッド上で過ごす事が多く、活動量が低い状況。



自宅での起き上がり、起立動作の困難あり

訪問にて本人・家族より自宅でのベッドからの起き上がり、起立が出来ない状況を確認



動作の問題

- ・動作の手順が毎回異なる
- ・手順によっては倒れこんでしまう

通所での動作反復による練習

ベッド環境の問題

- ・簡易ベッドを使用・ベッド高が低い
- ・背上げ機能なし・柵がない

介護用ベッドの提案

「もう歳だから」とより良い生活への諦めやベッドの大きさ・環境変化から、導入に消極的

通所にある介助用ベッドにて、本人に体験と反復訓練を家人に動画にて説明



消極的の意味を理解した支援が大切

福祉用具の選定・提案の前に、どのような想いで今の自宅環境を作ってきたのか、どのような生活にしたいと思っているのかを大切に支援していきます

介護予防は
会話から

言語聴覚士による 「話す・伝える」支援

- ☑意思疎通が取りづらくなった
- ☑言葉が聴き取りにくい
- ☑話すこと・交流を楽しめていない
- ☑歳だからこんなものかな…？ など

難聴

廃用

失語など
高次脳機能

構音障害

認知症

精神・心理

要因によって異なる 関わり方・工夫の仕方

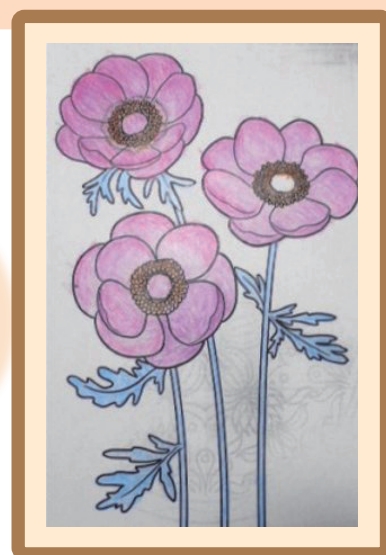
発話や会話につながる環境設定
声のかけ方
自主トレーニング
家族へのアドバイス
工夫の提案（代替手段など）



専門的検査・評価を通して分かることがあります。いつでもご相談ください

創作紹介 アネモネ

一つの楽しみとして色鉛筆で色塗りをして頂いています。元々趣味で絵を描くのが好きであった話を聞かせてくれました。



麻痺があり、利き手ではない左手で、濃淡を上手く表現されています。

介護老人保健施設鴻池荘 TEL.0745-64-2180

受付時間 9:00～17:00 担当者：相談員 FAX.0745-62-1092

お問合せフォームはこちら。QRコードからアクセスできます。

